



# 開発パイプラインと グローバル開発推進

2008. 5. 9

2007年度 決算説明会

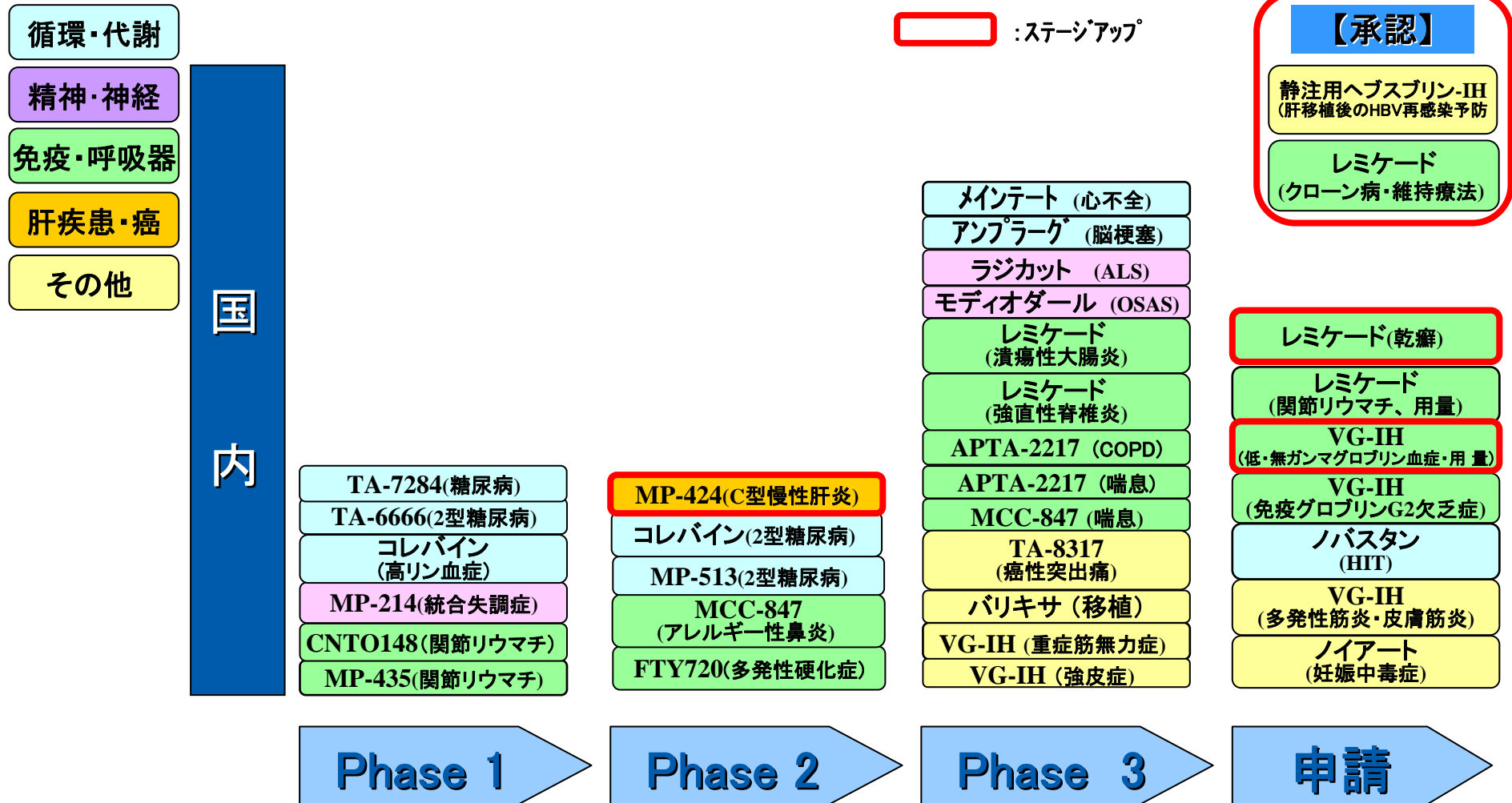
於：経団連会館

取締役 常務執行役員  
開発本部長 柳澤憲一

1. パイプライン進捗
2. 重点開発プロジェクト
3. 欧・米・アジアの開発推進
4. 開発プロジェクトピックアップ

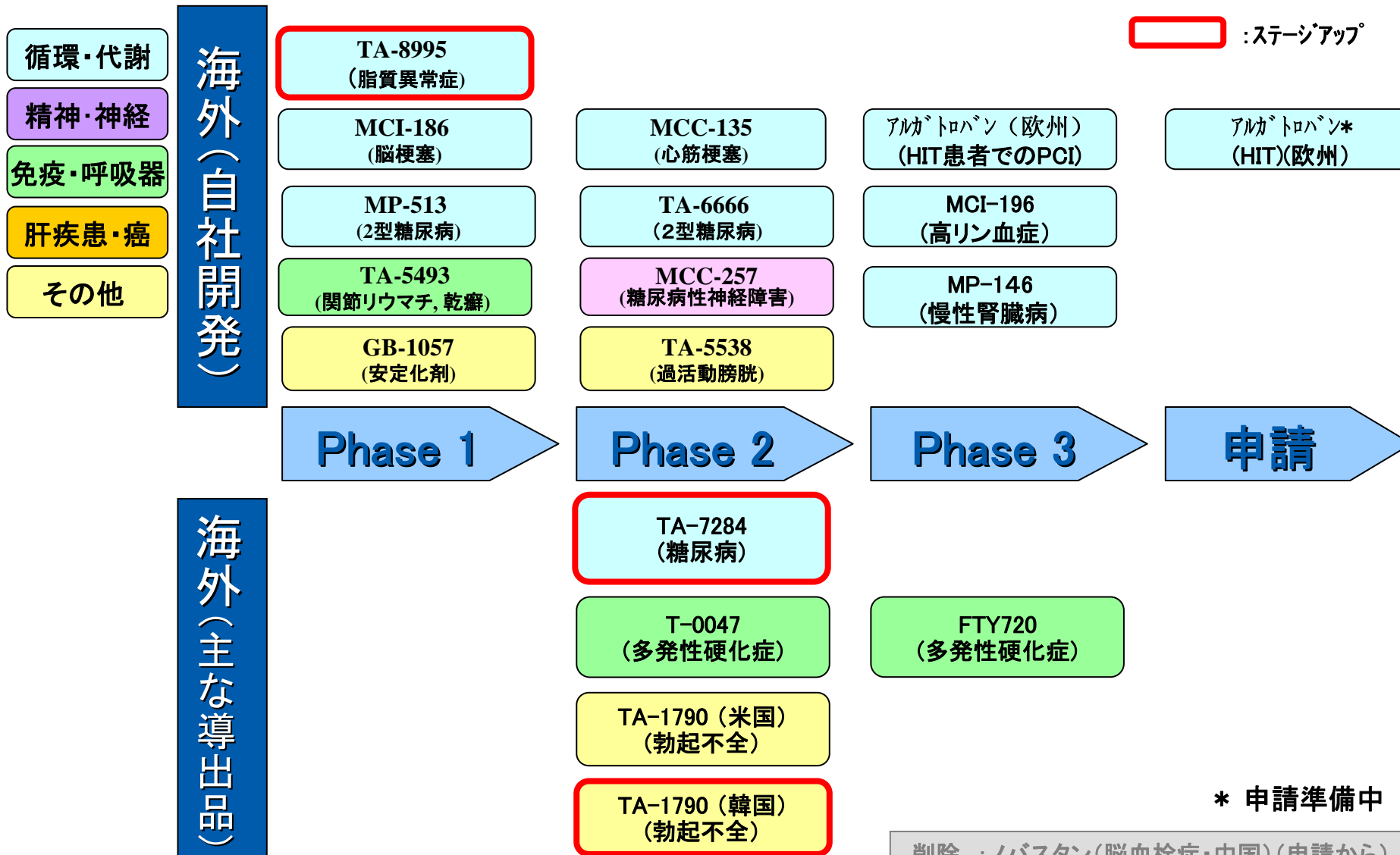
# 1. パイプライン進捗

## <国内>



# 1. パイプライン進捗

## <海外> (自社開発、主な導出品)

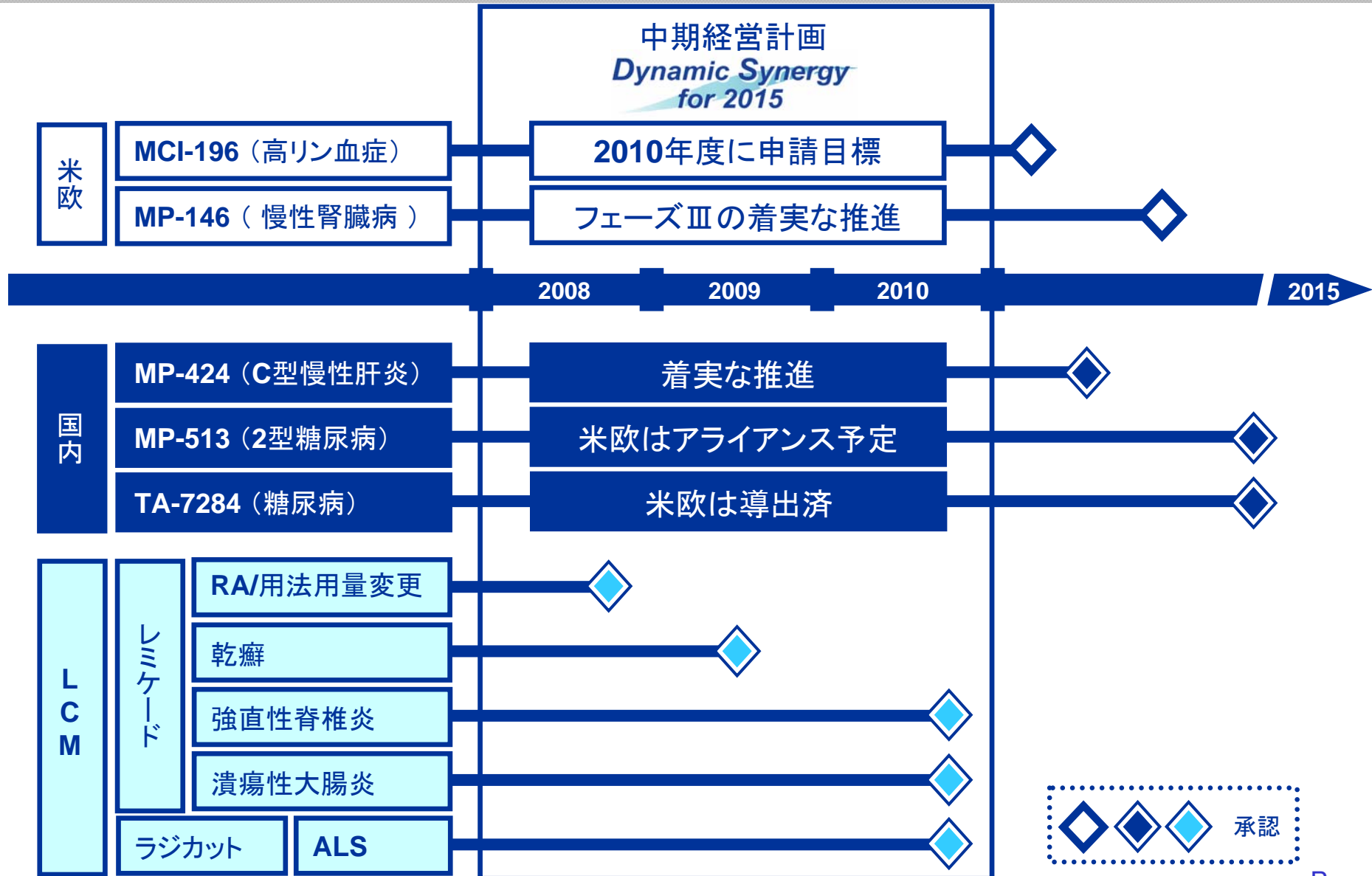


海外(主な導出品)

## 2. 重点開発プロジェクト



田辺三菱製薬



## 2. 重点開発プロジェクト (MCI-196、MP-146)



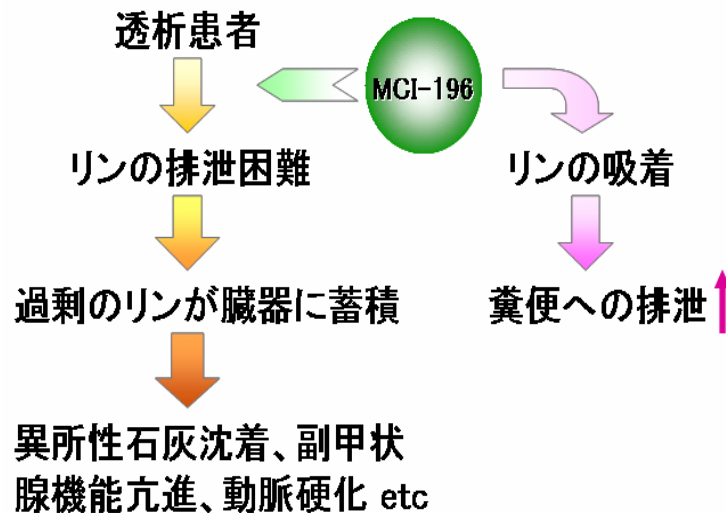
米欧

### MCI-196 高リン血症

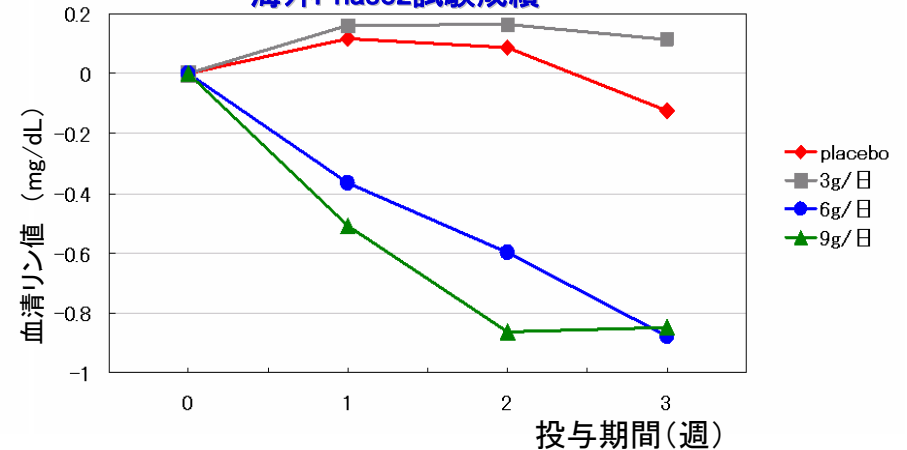
ステージ : Phase 3  
作用機序: リン酸吸着、排泄

中計期間の目標

NDA



MCI-196による血清リン値の変動  
—海外Phase2試験成績—



### MP-146 慢性腎臓病

ステージ : Phase 3  
作用機序: 経口吸着炭で、消化管で産生される尿毒症毒素を吸着し排泄

確実な進捗

## 2. 重点開発プロジェクト (MP-424)



### HCVプロテアーゼ阻害作用

#### 【目標とする効果・特徴】

ウイルス血症の改善  
(投与期間の短縮化と優れた治療効果)

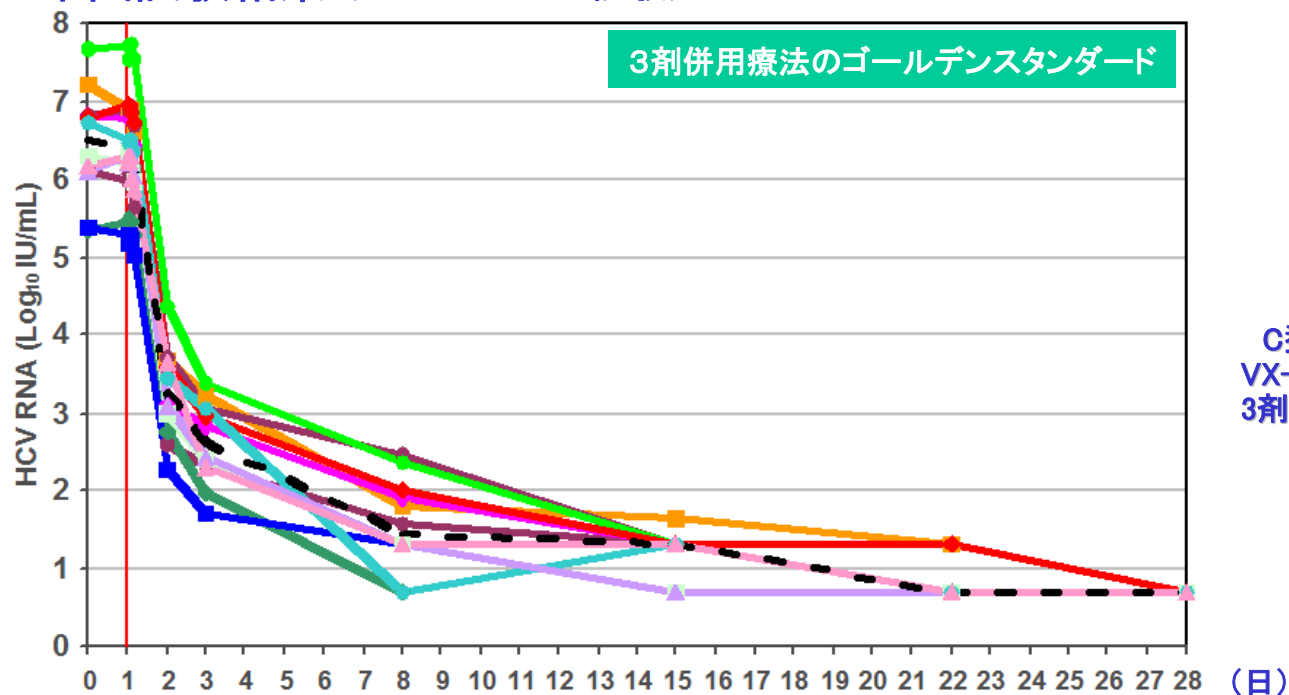
#### 【フェーズ】

Phase 2実施中

#### 【開発推進について】

- 最速の申請を目指す
- 海外データの活用

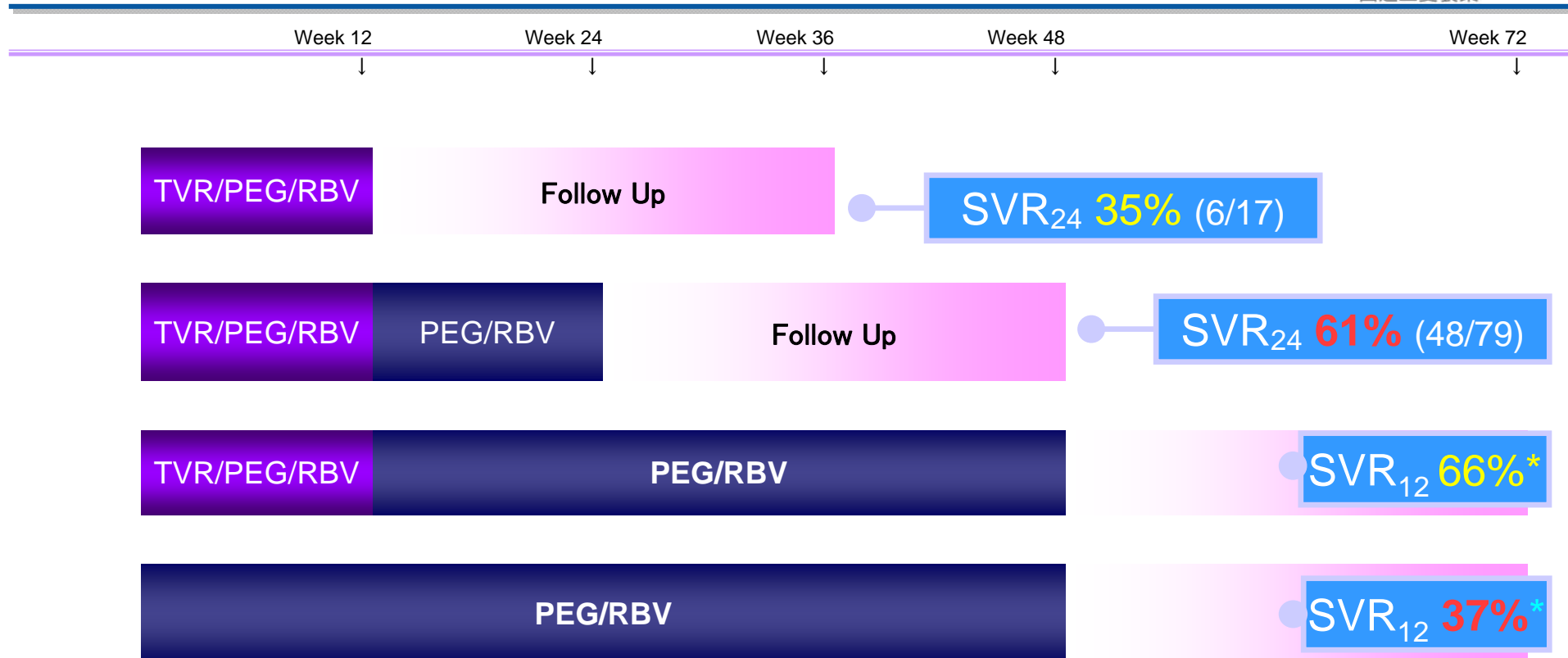
#### 米国試験結果 (VX05-950-102試験)



## 2. 重点開発プロジェクト (MP-424) 海外臨床試験 中間解析結果



田辺三菱製薬



対象

C型慢性肝炎患者  
( Genotype 1 , Treatment naive)

\*Jan 23, 2008  
Vertex Press Release

TVR : Telaprevir

PEG : Pegylated-interferon alfa-2a, RBV : Ribavirin

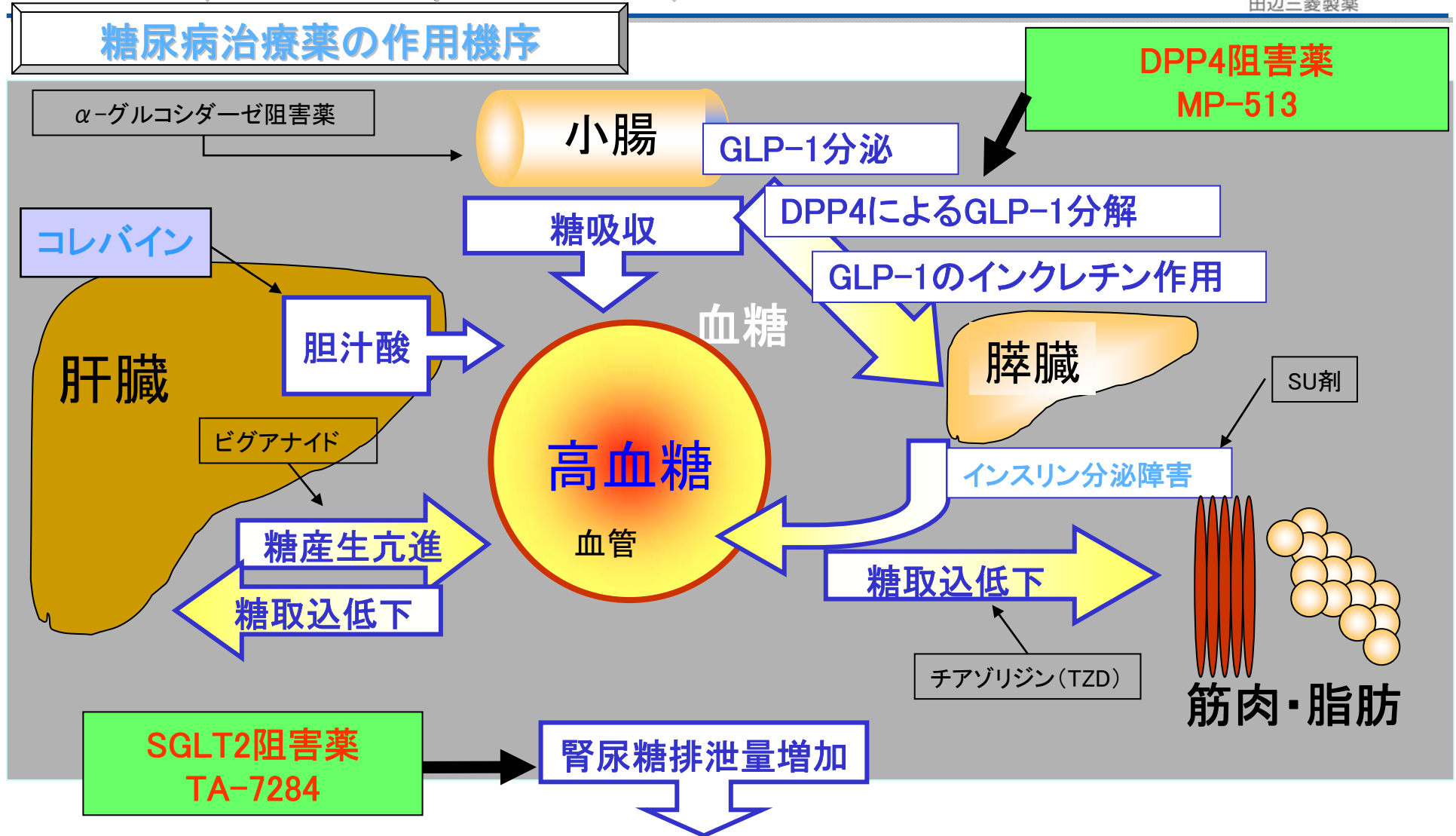
SVR24 : undetectable HCV RNA <10 IU/L at 24wk post-treatment

I.M.Jacobson *et al* AASLD 2007 (#177)



## 2. 重点開発プロジェクト (MP-513、TA-7284)

### 糖尿病治療薬の作用機序



## 2. 重点開発プロジェクト

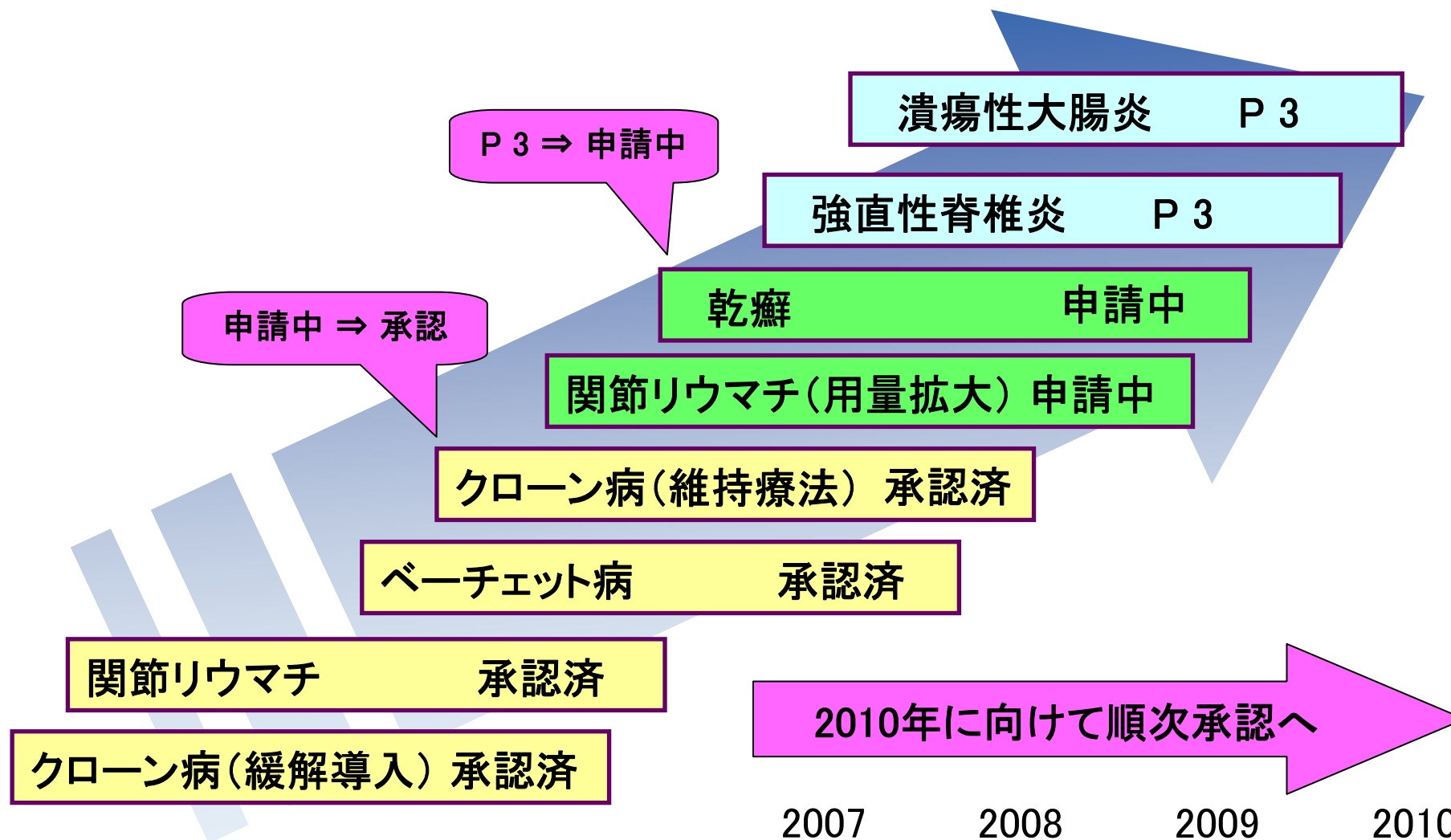
(MP-513、TA-7284)： 糖尿病への取り組み



	P 1	P 2	コンセプト
MP-513	欧米	日本	持続性、高い安全性。 ベストインクラス。
TA-7284	日本	欧米*	持続性、高い安全性。 ファーストインクラス。 欧米で導出先の開発加速。
コレバイン		日本	脂質と同時に血糖もコントロール 高い安全性。

\*導出先：ジョンソン・エンド・ジョンソン

## 2. 重点開発プロジェクト トピックス: LCM戦略(レミケード)



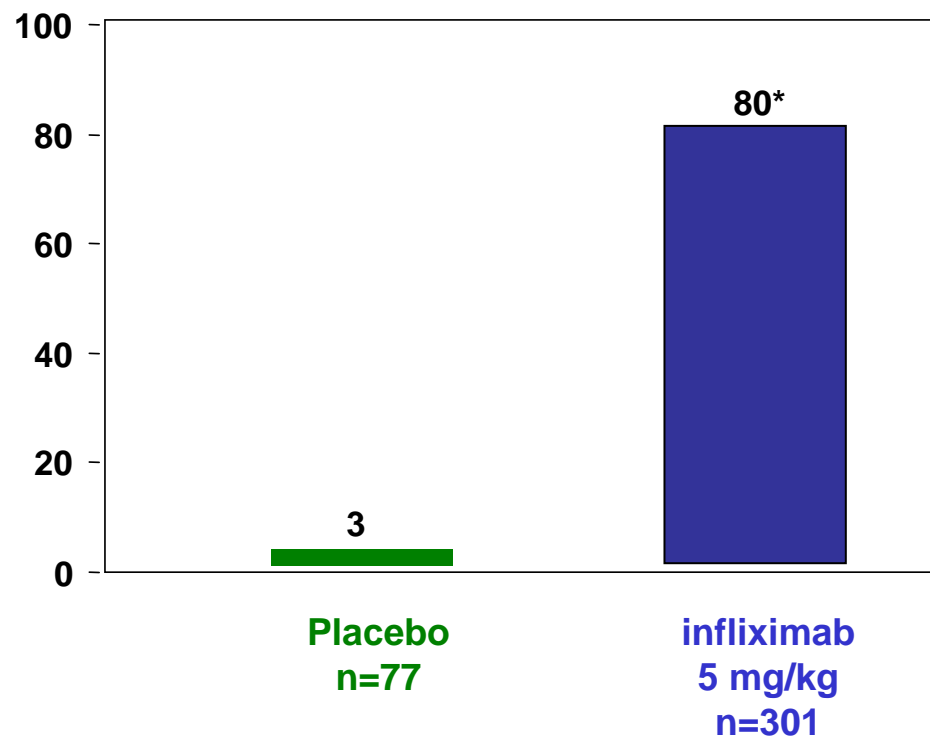
## 2. 重点開発プロジェクト

### レミケード乾癬(海外臨床試験結果)



### Phase 3試験: プラセボとの比較試験

投与開始10週後のPASIスコア75%改善率



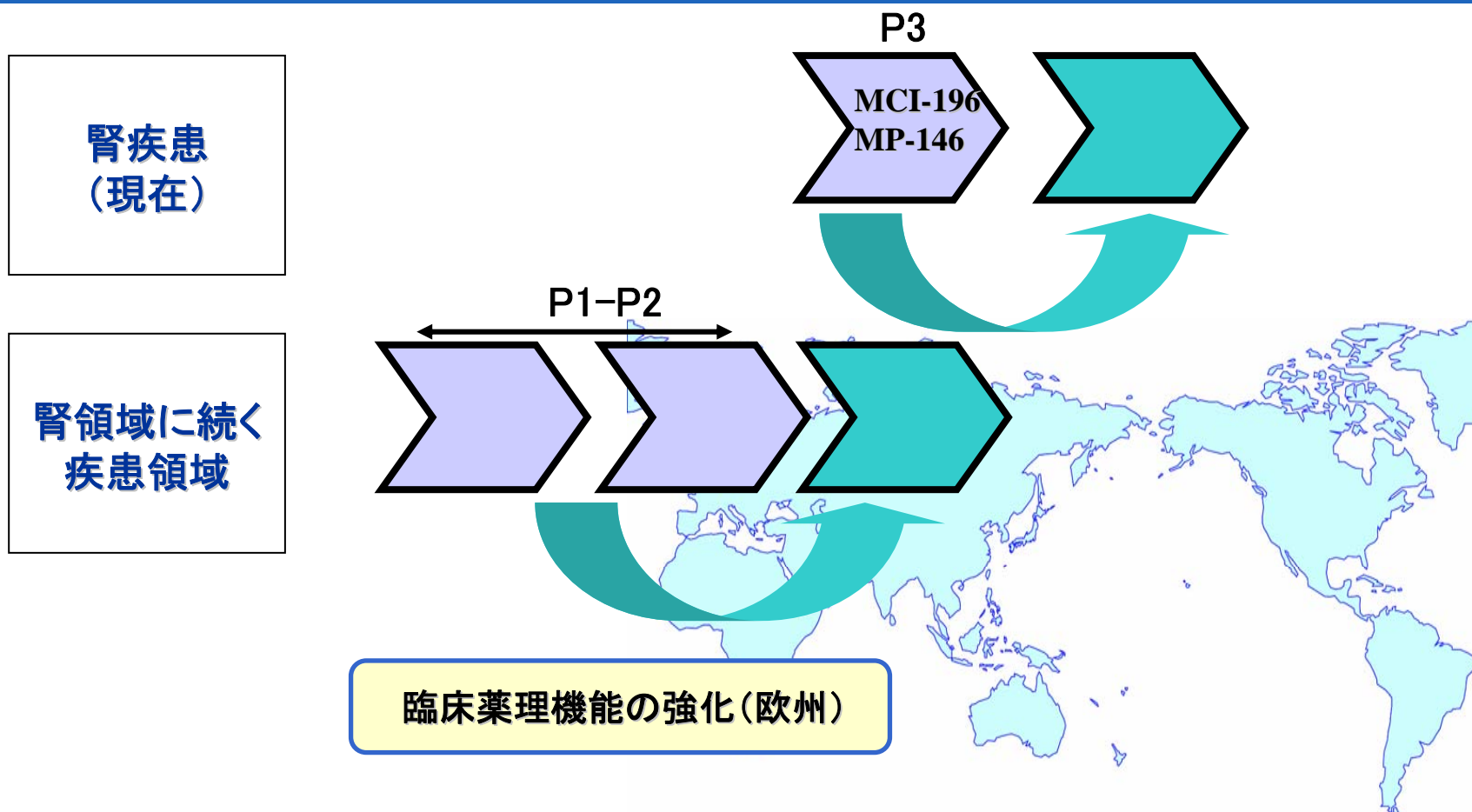
PASI(Psoriasis area and severity index)

\*p<0.001 vs. placebo

Lancet 2005: 366:1367-74

### 3. 欧・米・アジアの開発推進 (米国・欧州)

- 腎領域に続く、疾患領域を2010年を目処に選択
- 欧米展開は開発の成功確率と自販可能性から開発品を厳選、また、自社開発、導出、共同開発から最適な方法を選択



### 3. 欧・米・アジアの開発推進 (アジア)

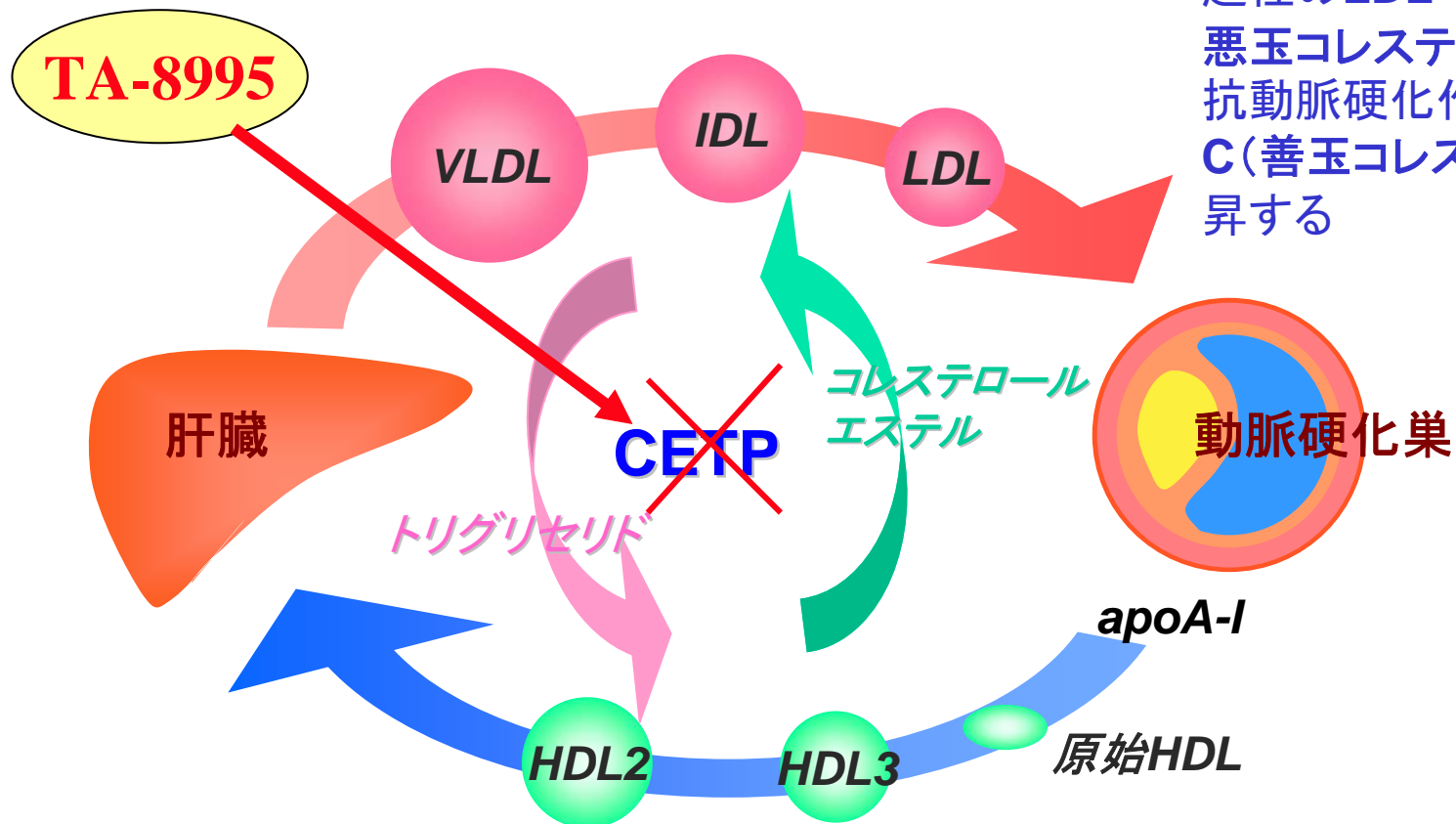


# 4. 開発プロジェクト トピックス

## TA-8995



作用機序: コレステロールエステル輸送蛋白 (CETP) 阻害作用  
想定適応症: 脂質異常症



CETP阻害により動脈硬化惹起性のLDL-CやVLDL-Cなど悪玉コレステロールが減少, 抗動脈硬化作用を持つHDL-C(善玉コレステロール)が上昇する

# 4. 開発プロジェクトトピックス

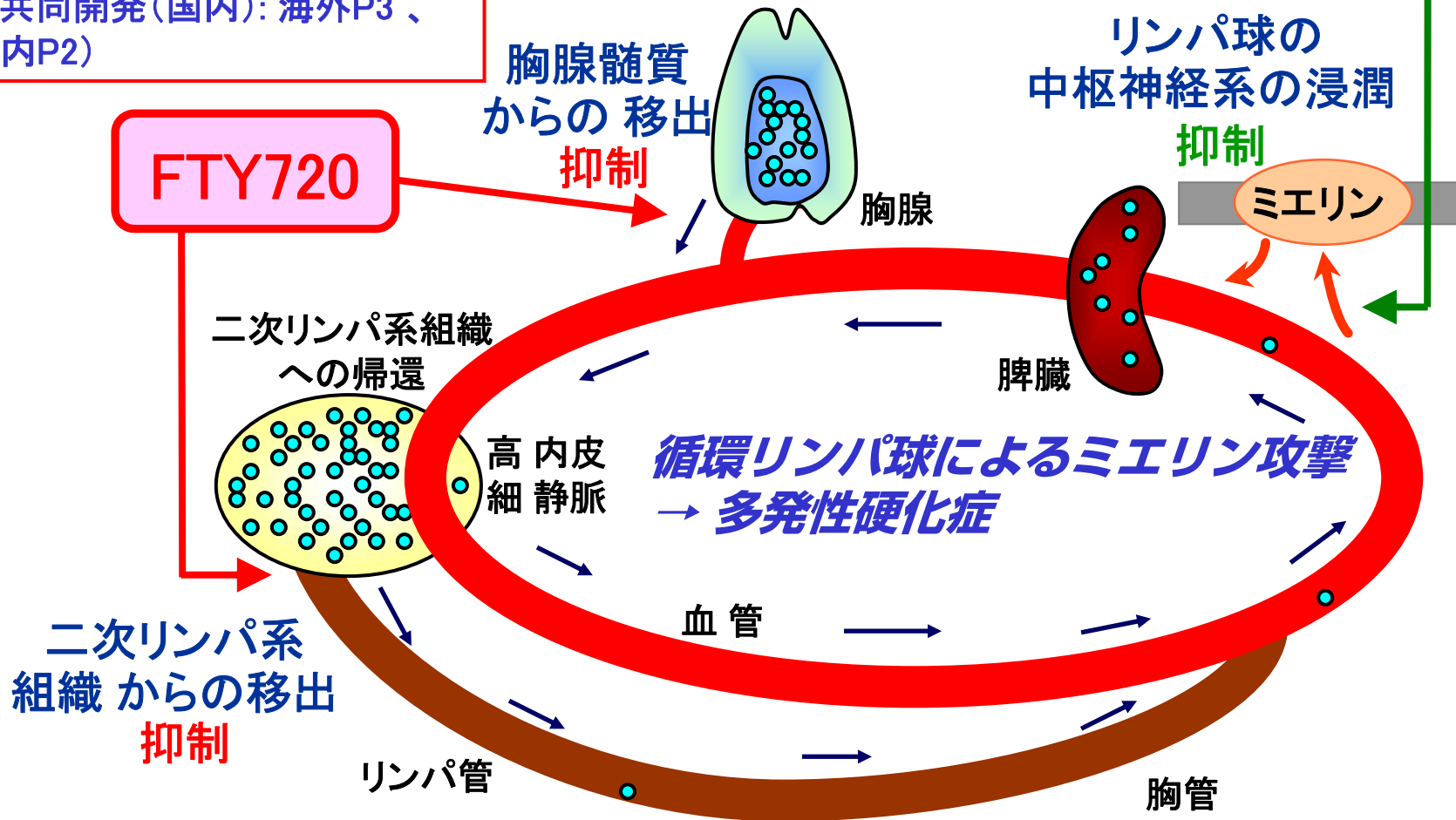
## 多発性硬化症 (FTY720, T-0047)



世界初のスフィンゴシン1-リン酸受容体調節薬  
(ノバルティスへ導出(海外)および共同開発(国内): 海外P3、国内P2)

最も開発ステージが進んでいる経口α4インテグリン拮抗薬(GSKへ導出: 海外P2)

T-0047





## 注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、当社が一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。